



デビッド・ストークはモンサント・カンパニーの消費者向け品種開発担当副社長です。食品の品質を上げ、健康増進を促進する作物の開発のためにモンサント・カンパニーの戦略を牽引しています。また、複数の食品会社と連携し市場にこれらの技術をもたらす業務関係の発展に貢献しています。

米国のオハイオ州立大学にて遺伝学で学士号を取得後、ワシントン大学にて分子生物学で博士号を取得しました。1989年にモンサント・カンパニーに研究員として入社、高デンプン質ジャガイモ、高固体トマトや高油分の油糧用種子の開発をもたらした食品品質プログラムの立ち上げに携わりました。また生物高分子部長、生産事業体におけるバイオテクノロジー統括責任者、そしてモンサント・カンパニーの子会社NatureMarkの社長などのさまざまな役職を歴任しています。